

りぶらサポータークラブ 平成 21 年度 総会

日時：平成 21 年 5 月 30 日（土）
13:30 ～ 14:15

場所：図書館交流プラザ Libra
301/302/303 会議室

第 1 号議案：平成 20 年度の事業報告について

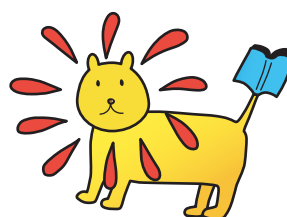
第 2 号議案：平成 20 年度の会計報告について

第 3 号議案：平成 21 年度の事業計画案について

第 4 号議案：平成 21 年度の事業予算案について

その他：役員紹介など

資料：会則



りぶらいおん©LSC

第 1 号議案：平成 20 年度事業報告について

役員会・運営委員会実施報告

11/8(木)	LSC 設立総会 (りぶらフォーラム I)	133 名
11/20(金)	第 1 回 LSC 役員会 ・ Libra が開館して見えてきた課題について	9 名
12/4(木)	第 2 回 LSC 役員会 ・ 対話集会 (1/24) について ・ 第 2 回りぶらフォーラムの検討	11 名
12/18(木)	第 1 回 LSC 運営委員会 ・ 12 月のイベント (12/20 冬のコンサート、 12/21 空き缶ドルナイト) について	14 名
1/8(木)	第 3 回 LSC 役員会 ・ 対話集会 (1/24) の内容検討 ・ 第 2 回りぶらフォーラムの検討 ・ サポータープロジェクト募集の内容確認	13 名
2/5(木)	第 4 回 LSC 役員会 ・ 対話集会の振り返り ・ りぶらフォーラム II について	11 名
2/19(木)	第 2 回 LSC 運営委員会 ・ 21 年度前期申請分プロジェクトの審査	20 名
3/5(木)	第 5 回 LSC 役員会 ・ りぶらフォーラム II の振り返り ・ 次年度の LSC 役員会、運営委員会について	10 名
3/19(木)	第 3 回 LSC 運営委員会 ・ 20 年度プロジェクト報告と 21 年度プロジェクトの確認 ・ 4 月 4 日 桜まつり LSC イベント企画について	10 名

全体事業実施報告

11/8(土)	103 会議室	第 1 回りぶらフォーラム ・ 幻燈会 ~Libra ができるまで~ ・ LSC 設立総会 ・ パネルディスカッション	133 名
12/13(土)	103 会議室	平成 21 年度プロジェクト申請説明会	約 30 名
1/24(土)	活動コーナー	対話集会	21 名
2/28(土)	301 会議室	第 2 回りぶらフォーラム ・ りぶらの夢を確かめ、ふくらまそう！	23 名

平成20年度りぶらサポータープロジェクトの活動報告

①Libra NEWS

リーダー： 丹野綾子

プロジェクトの目的： ①りぶらサポーターの活動と Libra を多くの人に伝える
②Libra NEWS を読んでもらい、りぶらの認知度を上げる
③情報誌を作ることで、りぶらの各プロジェクトに参加してもらえる仲間を増やす

活動実績 創刊準備号 vol.1 →2008 年 5 月発行…約 500 部印刷

(活動日・参加人数等)： 創刊準備号 vol.2 →2008 年 7 月発行…約 500 部印刷

創刊準備号 vol.3 →2008 年 9 月発行…約 500 部印刷

創刊号 →2008 年 11 月発行…約 2500 部印刷

vol.2 →2009 年 3 月…約 500 部印刷

全ての号において、在庫がほぼ無い状態になっている。

配布方法は、創刊準備号については、コンビニラックへの配架と交流会などの集まりにおいての配布。創刊号は、Libra 館内での窓口カウンターへの設置、イベント時の資料への挟み込み・配布となっており、コンビニラックへの配架までは手が回らなかった。

プロジェクトの成果： Libra が開館し、視察に来る方たちへ説明するときに役に立っているようだ。
ホールでのイベント時など、始まる前にパンフと共に配られた Libra I on を読んでいる姿が多数見られた。しかし、読者からの意見が寄せられたというようなことはまだ無く、Libra やりぶらサポータークラブの認知度、活動への理解、参加などに広報誌による効果が出ているのか不明。
「げんき館」での広報誌作成の動機となった。

平成 21 年度の展開： プロジェクトではなく、広報部としての活動になる。
行政が Libra の広報誌を作るようになれば、その中の 2 ページのみを「りぶらサポータークラブのページ」として、こちらで作成する予定。
他、各種チラシの作成や、ウェブサイトの作成を行う予定。
デザインや編集のできる人材育成を行いたい。

活動風景など：



Libra I on 創刊準備号 Vol.1～3、Libra I on 創刊号、第2号

②りぶら・ぶらりマップ作成プロジェクト

リーダー： 酒井立子

プロジェクトの目的： ①「りぶら」を基点とした人の動きを喚起する。
②観光都市岡崎の魅力を再認識し、ふるさとへの愛着を高める。
③岡崎を歩いて楽しむ情報を提供し、岡崎の魅力を広く発信する。
④歩いて見知った事柄を「りぶら」で調べ学習ができる環境を作る。

活動実績
(活動日・参加人数等)： 2008年5月 第1回編集会議 内容：マップの体裁について／印刷について
2008年6月 第2回編集会議 備考：17時以降、ホテル観察会
2008年6月 第3回編集会議
2008年8月 第4回編集会議 内容：進捗状況について／マップ面について

プロジェクトの成果： りぶらの開館に合わせて「りぶらぶらりマップ(有料：100円)」を作成し、またウォークラリーも実施した。さらに、改良を加えた第2版も作成し、多くの一般市民の方にりぶらおよび中心市街地に関心を持ってもらうことができた。また、第3版も今年度中に制作予定である。

平成21年度の展開： 版を重ねて改良を加えながら、より多くの人たちにりぶらぶらりマップを活用してもらいたい。

活動風景など： 中日新聞2008年11月11日号にりぶら・ぶらりマップの取組みが紹介されました。



③庭で遊ぼうプロジェクト

リーダー： 酒井立子

プロジェクトの目的： ①「りぶら」の庭～伊賀川～岡崎公園へのグリーンコドー(自然回廊)を活かし、市民の憩いの場とする。
②岡崎のまちなかの「意外にも」豊かな自然について広く市民に情報発信する。
③子どもたちが安心して自然遊びを楽しめる環境を整備する。

活動実績
(活動日・参加人数等)： 2008年11月
プチ・バードサンクチュアリ作りのためのバードハウス・バードフィーダー展
井筒明夫氏講演会&バードハウス作成ワークショップ

プロジェクトの成果： 具体的な活動として、気軽に自然に楽しむことができる手段の1つである「バードハウス」の講演会を実施し、同時にバードハウスづくりのワークショップも開催した。バードハウスは、開館したりぶらの庭をはじめとした市内数カ所に設置することができた。

平成21年度の展開： 上記のりぶらに設置したバードハウスの継続した活用をはじめ、りぶらを中心とした周辺部(中心市街地)にも存在する自然に親しんでもらうことをテーマにしながら、活動を展開していく。

活動風景など： 東海愛知新聞2008年11月20日



④OKAZAKI 情報コンビニラック

リーダー： 杉浦仁美

プロジェクトの目的： ①「りぶら」に集約された情報発信の仕組みを構築する。
②至る所で市内で行なわれる行事の情報を入手出来る事での市民の行事参加意欲を喚起する。
③市民が市内をぐるぐる巡ることでの岡崎市の活性化を図る。

活動実績 2008年 コンテンツの配布（継続）
（活動日・参加人数等）：

プロジェクトの成果： 前年度までの活動に引き続き、市内12箇所に設置された情報コンビニラックへ行政の情報および市民活動の情報を配置してきた。従来は市民活動情報の設置があまりなかったスーパーにもラックが設置されているため、より多くの市民に活動情報を提供できたと考えられる。

平成21年度の展開： 引き続きコンビニラックへの資料配置を続ける。また資料の減り具合などを検討しながら、ラックの設置箇所および設置数などについて検討を進めていく。

活動風景など：



⑤オープニングイベント事業

リーダー： 山田美代子

プロジェクトの目的： りぶらのオープンを祝い、市民団体同士の交流を図る。

活動実績
(活動日・参加人数等)： 5月～10月 交流会、全体会、SSCで日時、場所、内容、予算、担当者、備品、ボランティア等を検討

11月1日～12月20日 巨大アート製作
11月1日～2日、8日～9日 お茶・音楽・朗読コラボ
11月3日 ウォークラリー
11月8日 Libraフォーラム、絵本とハープ演奏
11月8日～11日 ユニバーサルツアー
11月20日～24日 バードハウスと本の展示
11月22日 バードハウス ワークショップ
11月23日 巨大アート製作ワークショップ
11月22日～24日、29日、30日 図書館まつり
11月27日～12月7日 クリスマス絵本展示
12月20日 冬のコンサート、巨大アート完成式
12月21日 空き缶ドルナイトワークショップ、点灯

プロジェクトの成果： りぶらがオープンしてから2ヶ月間、会議室、ホール、創作室、図書館、交流スペースなどすべての施設を使って、楽しい企画を展開した。
国際交流、市民団体、福祉団体、行政など多くの市民、団体が交流することができた。りぶらの使い方や今後の課題などが見えた。

平成21年度の展開： りぶらサポータークラブの全体事業として展開していく。

活動風景など：



⑥りぶらの託児を考える会

リーダー： 山田美代子

プロジェクトの目的： 定期託児を行い、小さい子どもを持つ利用者の利便性を高め、利用促進を図る。講座の託児も引き受け、講座受講者の利便を図る。

活動実績
(活動日・参加人数等)：

4月 会議 12名、PR活動(スプリングフェスティバル) 3名
5月 会議 11名、研修(集いのひろば) 8名、会議 13名
6月 講座 27名、会議10名、視察(大府小児総合センター)8名
7月 会議 8名、視察研修(児童総合センター)13名、会議 11名
託児実習 17名、講座受講 42名
8月 PR活動(地域交流センター) 8名、会議 18名
9月 会議 15名、講習(救命救急講習) 8名
10月 講座受講 35名
10月24日 託児サポート りぶらっこ☆ふぁみりー 誕生
会員41名
11月 託児(月、金曜日) 40名、会議 30名 役員会 5名
オープニングイベント参加 52名
12月 託児(月、金曜日) 45名 会議 25名 役員会 5名
1月 託児(月、金曜日) 40名 会議、研修 20名 役員会 5名
保健所より依頼された講座の託児 6名
2月 託児(月、金曜日) 40名 会議 20名 役員会 5名
3月 託児(月、金曜日) 40名 会議 20名 役員会 5名

プロジェクトの成果： 「託児サポート りぶらっこ☆ふぁみりー」が立ち上がり、週2回月曜日と金曜日の定期託児の実践ができるようになった。

11月、12月はお試し期間で無料託児、1月から1回300円を徴収するようになったが、金曜日は予約者でいっぱい状況。月曜日に関しては予約者が少ないため、託児をする子どもの年齢を検討中。図書館より託児日を増やしてほしいとの要望があり、1日増加を検討中。

平成21年度の展開： りぶらサポータークラブの全体事業として展開していく。

活動風景など：



りぶらっこ☆ふぁみりーによる
託児サービス

⑦岡崎むかし語りの会

リーダー： あらきかずえ

プロジェクトの目的： 祖先の暮らしの中から生まれ育まれてきた、岡崎のむかし話を語り広げ伝えることで、ふるさと岡崎への関心を深め、再発見してもらう。

活動実績

(活動日・参加人数等)：	4月19日	例会	4名	
	5月19日	浄瑠璃姫伝説の跡を辿る（昔話の舞台）	会員4名・会員外3名	
	6月12日	例会	4名	
	6月17日	円校寺見学（片目の鯉）	会員5名	
	7月15日	例会	4名	
	9月24日	例会	4名	
	10月22日	例会	3名	
	11月23日	図書館まつり参加	語り4名・他の会員2名・入場者31名	
	11月28日	例会	4名	
	12月15日	講演会・長坂博幸氏「浄瑠璃姫伝説あれこれ」と語り	会員6名 入場者30名	
	1月16日	例会	5名	
	1月22日	第1回「むかし館」活用事業参加	会員5名 参加者35名	
	2月25日	例会	5名	
	3月26日	第2回「むかし館」活用事業参加		
	3月24日	例会	5名	
	3月26日	第3回「むかし館」活用事業参加	会員3名 参加者39名	

プロジェクトの成果：

- ・講演会「浄瑠璃姫」…参加者の中から“名前は聞いていたが、こんな物語があったとは”との声（プロジェクトの目的のひとつはこういうこと）
- ・「むかし館」活用事業に参加

平成21年度の展開：

- ・「むかし館」活用事業…始まったばかりだが、互いのコンセプトを尊重し活かしつつ、広く市民に働きかけられるよう努力したい。
- ・講演会…「岡崎のむかしばなし」を通して参加者に再発見してもらえるようなテーマを検討する。

※古老をお願いして、育ってきた、生活してきた時代の体験・あそびなどを聞く。

活動風景など：



Libra むかし館でのむかし語りの会
(2009年1月22日)

⑧岡崎図書館未来企画

リーダー： 戸松恵美

プロジェクトの目的： 岡崎市の図書館にふさわしい評価指標をつくり、客観的なデータに基づいた市民の声を図書館に提案する。

活動実績 「図書館の評価指標づくり」

(活動日・参加人数等)： 9月までに、ベンチマークに4M(人・設備・方法・材料)を反映させた評価指標の検証が終了した。1月から「図書館の機能展開検討表」に「ベンチマーク体系」を組み込んだ一覧表を作成。

・5/24(4名)、6/21(4名)、7/18(5名)、8/22(7名)、9/25(4名)、1/17(5名)、2/9(6名)、3/9(5名)

「津島市立図書館見学」 9/17(1名)

「日進市立図書館見学」 10/11(2名)

「全国公共図書館・経営部門研究集会」 1/22、2/3(2名)

プロジェクトの成果： 平成21年1月に県立図書館で山田美代子さんと川口氏が発表。基調講演をされた中川氏を総会の基調講演会に招聘。

平成21年度の展開：

- ・アンケート内容の検討との実施。
- ・アンケートの集計。
- ・アンケート結果の評価指標への反映。
- ・評価への評価(プレゼンの実施)。
- ・評価指標の再精査。
- ・評価の継続運営について考える。

⑨デジタル映像活動プロジェクト

リーダー： 木村剛也

プロジェクトの目的： 岡崎のむかしの町並み保存などを目的として集めたデジタル映像を使用して、郷土を愛する気持ちを皆様に持っていただくことが目的

活動実績 活動内容に、

(活動日・参加人数等)： ①絶滅危惧種であるむかしの写真を発掘し、デジタル化。⇒これはプロジェクトメンバーで継続・実施した。

②集めた映像を分類する。⇒木村が一元管理して実施。

③集めた映像を利用して、むかしの写真の大切さをPRする。⇒旧図書館、商工会議所、コミュニティサテライトオフィス、CDL、大学、その他に活を頼まれるようになった。(日時・参加者は略)

④りぶらの中の図書館やむかし館で、公機関で有効に利用していただくための研究・調査を進めた。

プロジェクトの成果： 市民・行政に向けてのむかし写真を集積することの重要性及び岡崎二十七曲りや中心市街地活性化の提案に映像利用した。

平成21年度の展開： プロジェクト(パートⅡ)として①～④の活動を続けることとして、特に③については受動的な活動から能動的な活動に変え、④については研究・調査結果をもとに担当部所と話し合っていきたい。

第2号議案：平成20年度会計報告について

平成20年11月8日～平成21年3月31日までの会費収入分の会計報告

＜収入の部＞

個人会員年会費	42,000	42名 × 1,000円
団体会員年会費	2,000	2団体 × 1,000円
賛助会員賛助会費	1,000	1名 × 1,000円
収入合計	45,000	

＜支出の部＞

貸しロッカー代	500	5ヶ月 × 100円
会員宛葉書出力 & 郵送費	1,950	PJ説明会案内
会員証カラー出力 & 名札代	2,000	
日進サポータークラブ接待費	2,200	お茶うけ
支出合計	6,650	

＜収支残高の部＞

収支残高	38,350	残高は次年度に繰越
------	--------	-----------

上記の通り決算いたしました。

平成21年5月15日 会計 森 和弘

監査の結果、事業報告・会計ともに相違ないことを認めます。

平成21年5月15日 監査 白濱小夜子

H20年度りぶらサポータープロジェクト決算報告

H.20.4～H.21.3	収入		支出	残額
	プロジェクト費	事業収入		
オープニングイベント事業	270,000	45,700	309,364	1,701
託児ユニバーサル・見守り隊	30,000		9,731	20,269
キャンドルナイト	0		16,115	-16,115
巨大アート製作	25,000		27,888	-2,888
バードハウス	160,000	45,700	204,185	1,515
お茶コラボ	15,000		17,459	-2,459
ウォークラリー	15,000		9,250	5,750
ユニバーサルツアー	25,000		24,736	264
LSC設立準備会	16,000		15,647	353
りぶらニュース	50,000		36,788	13,212
りぶら・ぶらりマップ	100,000	176,800	274,324	2,476
情報コンビニラック	30,000		15,000	15,000
託児システム	80,000	46,050	133,765	-7,715
庭で遊ぼう	30,000		0	30,000
図書館未来企画	4,000		2,570	1,430
むかし語りの会	10,000		9,980	92
デジタル映像	10,000		0	10,000
消耗品費	0		18,398	-18,398
雑費	0		151	-151
計	600,000	222,850	815,987	48,000
Tシャツ	0	32,000	80,000	-48,000
計	600,000	254,850	895,987	0

上記の通り決算いたしました。

平成21年度5月15日 NPO法人 岡崎まち育てセンター・りた 経理 今井真知江

第3号議案：平成21年度事業計画案について

役員会・運営委員会および全体の事業計画案

4/7(火)	役員会:14:00～	活動コーナー
4/4(土)	さくら祭り	むかし館など
4/11(土)	プロジェクト紹介	301・302・303 会議室
4/16(木)	運営委員会:18:30～	102B 会議室
5/2(土)	こどもまつり	菅生川河川敷
5/12(火)	役員会:14:00～	活動コーナー
5/21(木)	運営委員会:18:30～	102B 会議室
5/30(土)	総会	301・302・303 会議室
6/2(火)	役員会:14:00～	活動コーナー
6/18(木)	運営委員会:18:30～	102B 会議室
7/7(火)	役員会:14:00～	活動コーナー
7/16(木)	運営委員会:18:30～	102B 会議室
7/18(土)	りぶらフォーラムⅢ	りぶらホール
8/4(火)	役員会:14:00～	活動コーナー
8/20(木)	運営委員会:18:30～	102B 会議室
9/1(火)	役員会:14:00～	活動コーナー
9/17(木)	運営委員会:18:30～	102B 会議室
9/26(土)	対話集会	
10/6(火)	役員会:14:00～	活動コーナー
10/15(木)	運営委員会:18:30～	
11/10(火)	役員会:14:00～	活動コーナー
11/19(木)	運営委員会:18:30～	
11/21～24	図書館まつり	
12/1(火)	役員会:14:00～	活動コーナー
12/5(土)	りぶらフォーラムⅣ	りぶらホール
12/17(木)	運営委員会:18:30～	
12/19(土)	プロジェクト説明会	
1/12(火)	役員会:14:00～	活動コーナー
1/21(木)	運営委員会:18:30～	
1/23(土)	対話集会	
2/2(火)	役員会:14:00～	活動コーナー
2/18(木)	運営委員会:18:30～	
2/27・28	交流イベント	全館
3/2(火)	役員会:14:00～	活動コーナー
3/18(木)	運営委員会:18:30～	

プロジェクトの事業計画案（問合せ先：Libra 市民活動センター 0564-23-3114）

	No	プロジェクト名：リーダー名：プロジェクトの内容
広 報	No.1	広報：杉浦仁美 ・一般向け広報誌の発行、会員向け情報誌の発行、ホームページの開設と更新、コンビニラックの活用、全体事業のチラシ・ポスターなどの作成。
交 流	No.2	りぶらフォーラムⅢ、Ⅳ：山田高広 ・フォーラムⅢ(7月18日) － Libra で実現した市民ならではの活用方法紹介 － りぶらまつりに向けてみんなでつながろう ・フォーラムⅣ(12月5日) － りぶら祭りをPRしよう
	No.3	りぶらまつり：山田高広 ・ Libra 全館を活用した市民手づくりのお祭り －フォーラムⅢ、Ⅳ で生まれた Libra を活用している団体や地域団体などのネットワークを総動員する －子ども、中高生、中高年、高齢者、それぞれにとって居場所のある交流の場をつくる
研 究	No.4	岡崎図書館未来企画：戸松恵美 ・岡崎市の図書館にふさわしい評価指標をつくり、客観的なデータに基づいた市民の声を図書館に提案する。
	No.5	デジタル映像活用(Ⅱ)：木村剛也 ・絶滅危惧種であるアナログ写真を見つけ出してデジタル映像として収集する収集した映像を機会ある度に皆さんに見せる ・集まった多数の映像を整理する
	No.6	ボランティアシステムを考える会：山田美代子 ・行政や市民団体のニーズ調査 ・システム作り ・ボランティア育成講座
	No.7	りぶら施設活用状況の一覧表示システム化と利用者行動観察：森 和弘 ・施設活用状況の一覧を、システム化するための基本仕様を確定できるよう、手入力による一覧表の手順を確立する ・施設利用者の観察により、市民が求めている生涯学習プログラムを検証し、企画に反映することにより施設全体の評価指標に持っていけるような研究
	No.8	りぶら生涯学習市民セミナー(講座)研究：森 和弘 ・市民が学んだ事を、他の市民へ伝えていく為の活動の場を提供する、セミナーシステムの研究 ・個人の生涯学習結果を記録するシステムの提供のための研究

	No	プロジェクト名：リーダー名：プロジェクトの内容
研究	No.9	つながろう “いのち”：斎藤美紀 ・「こどもまつり」「福祉祭り」に参加 ・夏休みイベント”いのちを大切にするワークショップ”「出会い系サイトなぜいけないの？ どうして作られたの？」対象「中学生と大人」 ・赤ちゃん交流事業 ・図書館まつりまたはりぶら 1 周年記念に参加
	No.10	りぶらノベルティグッズの企画と販売：戸松恵美 ・グッズのニーズ調査を行う。 ・グッズの企画と販売計画をたてる ・発注と管理を考える。
施設活用	No.11	りぶらっこ☆ふぁみりー：山田美代子 ・週 2 回の定期託児システムが軌道に乗ったので、託児回数の増加、講座やイベント時の託児依頼に備え、スタッフの託児活動のレベルアップを図る。 ・利用者の親子との交流や子育てに役立つような企画をする。
	No.12	岡崎むかし語りの会：荒木一枝 ・むかし館などで、岡崎のむかし話を中心に語り伝える。 ・Libra を中心に、イベントに参加・協力をする。 ・講演会の開催やむかし話の舞台を訪ね、理解を深め、より親しめるように計る。
	No.13	りぶらぶらりマップ：酒井立子 ・現行 (第 2 版) のりぶらぶらりマップの改訂・販売 ・りぶらぶらりマップを活用したイベントなどの活動
	No.14	庭で遊ぼう：杉浦仁美 ・現在、バードハウスの継続的な観察会の中で、ソーラークッカー (あさがお) を使った太陽エネルギーの利用等の ECO 体験を企画中。 ・他にも、岡崎市図書館交流プラザ 西側の伊賀川を利用した「ボンツク体験」等を企画したい。
	No.15	ひざ掛けづくり：稲森禮子 ・モチーフをつなぎ合わせひざ掛けを作りながら、生きがい探しの語らいの場を作る。
活動育成	No.16	調べ学習講座：戸松恵美 ・参加者同士で情報交換をしながら自分で決めたテーマについて調べ、作品としてまとめる。図書館の使い方やレポートの書き方などを講座形式で進める。
	No.17	シネマ・ド・りぶら (Cinema de Libra)：戸松恵美 ・ホール上映が可能な映像資料を利用し、りぶらホールで無料上映会を開催する。
	No.18	詩と音楽の午後：大石ともみ ・地元岡崎にある詩誌「アルファ」の優れた先達詩人達の詩業等や良い現代詩を紹介 ・詩の創作と朗読会の開催

第4号議案：平成21年度予算案について

運営費予算

費 目	収 入	支 出	摘 要
1. 会費	188,350		
前年度繰越金	38,350		会費分
年会費	100,000		2,000円×50人
賛助会費	50,000		50口
2. 会の運営費		188,350	
郵送費		20,000	切手・葉書・送料
材料費		118,350	会員名簿、管理・名札作成等
予備費		50,000	
運営費計	188,350	188,350	

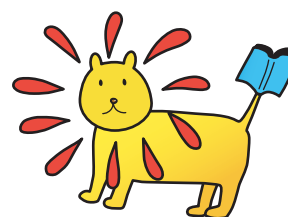
事業費予算

費 目	収 入	支 出	摘 要
3. 事業費	5,689,500		
受託金	4,830,000		岡崎市
参加費	359,500		個別事業の参加費
売上金	500,000		ノベルティグッズ等
4. 全体事業費		4,140,000	
会場費		12,000	会場使用料
人件費		120,000	手当・講師料
郵送費		30,000	切手・葉書・送料
資料費		48,000	会議資料費
材料費		430,000	広報誌の紙代・印刷費・備品費等
外注費		1,500,000	HP開設・管理費・グッズ製作費
委託費		2,000,000	事業一括委託費（交流プロジェクト）
5. 個別事業費		1,309,000	
4) 岡崎図書館未来企画		150,000	会場費・講師料・資料費・材料費等
5) デジタル映像		15,000	
6) ボランティアシステム		50,000	
7) 利用者行動観察		10,000	
8) 市民セミナー		35,000	
9) つながろう”いのち”		197,000	
10) ノベルティグッズ		50,000	
11) りぶらっこ☆ふあみりー		120,000	
12) むかし語り		30,000	
13) ぶらりMAP		500,000	
14) 庭で遊ぼう		30,000	
15) ひざ掛けづくり		10,000	
16) 調べ学習講座		20,000	
17) シネマ・ド・りぶら		40,000	
18) 詩と音楽		52,000	
6. 予備費		240,500	
事業費計	5,689,500	5,689,500	

合 計	5,877,850	5,877,850	
------------	------------------	------------------	--

平成21年度役員紹介

会 議			役 員	役 職
総 会	運 営 委 員 会	役 員 会	山田美代子	代表(プロジェクトリーダー)
			杉浦仁美	副代表(プロジェクトリーダー)
			木村剛也	副代表(プロジェクトリーダー)
			戸松恵美	事務局長(プロジェクトリーダー)
			斎藤美紀	書記(プロジェクトリーダー)
			森 和弘	会計(プロジェクトリーダー)
			白濱小夜子	監 査
				顧 問
			事務局	市民活動総合支援センター (市民活動センター)
		運 営 委 員	荒木一枝	プロジェクトリーダー
			酒井立子	プロジェクトリーダー
			稲森礼子	プロジェクトリーダー
			大石ともみ	プロジェクトリーダー
			小竹央朗	
			内田 明	
			水野雅子	
			原 靖子	
			佐藤郁雄	
	会 員			



りぶらいおん©LSC

りぶらサポータークラブ 会則

【第1章 総則】

(名称)

第1条 この会は、「りぶらサポータークラブ」(以下「本会」)という。

(所在)

第2条 本会は、岡崎市図書館交流プラザ(愛称:Libra(りぶら)、以下Libra)に置く。

(目的)

第3条 本会は、Libraとの協働を通じて、新しい市民協働の理念を模索しながら、市民相互の交流の活性化と、岡崎市全体の生涯学習の発展に寄与することを目的とする。

(事業)

第4条 本会は、第3条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 会の目的達成に必要な調査・研究活動
 - (2) 会の目的達成に必要な事業の企画・運営
 - (3) 会の目的達成に必要な人材および活動の育成
 - (4) 会の目的達成に必要な広報と情報提供
 - (5) Libraに関わる個人及び市民活動団体・企業と行政との交流と事業連携
 - (6) Libraにおける行政業務の支援および提言・評価
 - (7) その他、会の目的達成に必要な活動
2. 前項の事業の企画・決定に際しては、行政担当課との協働を基本とする。

【第2章 会員】

(会員)

第5条 本会は、目的に賛同する個人及び団体により組織する。
2. 会員は本会の行う事業に参加し、また新たな事業の提案をすることができる。
3. 会員は、入会後に部会またはプロジェクトに所属し(複数可)、事業実行委員および事業実行団体として活動することができる。

(構成と役割)

第6条 本会の会員の構成と役割は、以下の通りとする。
(1) 個人会員: 本会の運営に関わり、積極的に事業を推進する。
(2) 団体会員: 本会の事業と協働し、積極的に事業に参加する。
(3) 賛助会員: 本会の趣旨に賛同し、事業の推進に協力する

(入退会)

第7条 本会へ入会または退会するものは、所定の書式に必要事項を記入し、代表に申し出る。

(会費)

第8条 本会の会費は、以下の通りとする。
(1) 個人会員: 年会費 2,000 円
(2) 団体会員: 年会費 2,000 円
(3) 賛助会員: 賛助会費 1,000 円(1 口)
尚、年会費の期限は4月1日から翌年の3月31日とし、賛助会費は随時受け付ける。
2. 年度途中の入会における年会費については、9月末日以降の入会をもって半額とする。
3. 納入された会費は、返却しないものとする。
4. 会費は、名簿の作成・通信費等の会の運営費として使用する。
5. 賛助会費は、会の運営費を補うほか、事業実施等の経費として使用する。

【第3章 役員】

(役員)

第 9 条 本会を運営するため、次の役員を置く。

- (1) 代表 1 名
- (2) 副代表 2 名以内
- (3) 事務局長 1 名
- (4) 書記 1 名
- (5) 会計 1 名
- (6) 監査 1 名
- (7) 顧問 必要に応じて設置する

(役員を選任)

第 10 条 役員は、会員の中から総会において選任する。

- 2. 役職は、役員の互選とする。
- 3. 監査は、運営委員を兼ねてはならない。

(役員の職務)

第 11 条 役員の職務は次のとおりとする。

- (1) 代表は、この会を代表し、会務を総理する。
- (2) 副代表は代表を補佐し、代表に事故のあるとき、または代表が欠けたときはその職務を代行する。
- (3) 事務局長は、この会の庶務を統括する。
- (4) 書記は、この会の会議を記録し、必要な資料を作成する。
- (5) 会計は、この会の会計事務を処理する。
- (6) 監査は、この会の事業および会計について監査する。
- (7) 顧問は、この会の運営や事業への助言をする。

(役員の報酬)

第 12 条 役員の報酬は、運営委員会の議決を経て、代表が別に定める。

(役員の任期)

第 13 条 役員の任期は 2 年とし、再任を妨げない。

- 2. 役員が任期途中で退任した場合は、その職務を他の役員が代行する。
- 3. 退任役員の任期内の後任は、役員会において速やかに選出しなければならない。

(役員解任)

第 14 条 役員が、次の各号のいずれかに該当するときは、総会の議決により解任することができる。この場合、その役員に対し、議決の前に弁明の機会を与えなければならない。

- (1) 心身の都合で、職務を続けることができないと認められるとき。
- (2) 職務上の義務違反、その他役員としてふさわしくない行為があると認められるとき。

(事務局)

第 15 条 本会の事務局は、Libra の市民活動総合支援センター内に置く。

【第 4 章 会議】

(会議)

第 16 条 本会の会議は、総会および役員会・運営委員会とする。必要に応じ、プロジェクト会議を開催する。

(総会)

第 17 条 総会は定期総会および臨時総会とし、定期総会は年 1 回、臨時総会は必要に応じて代表が召集する。

- 2. 総会は、代表が指名した会員が議長となり、次の事項を審議決定する。

- (1) 活動計画と収支予算に関する事
- (2) 活動報告と収支報告に関する事
- (3) 会則の改廃に関する事
- (4) 役員を選任に関する事

(5)会費に関すること

(6)その他、会の重要事項

3. 前項の第1号及び第3号については、行政担当課職員との協議を経なければならない。

(総会の通知)

第18条 総会を招集するときは、総会の日時、場所、目的および審議事項を記載した書面等により、少なくとも14日前までに通知しなければならない。

(総会の成立)

第19条 総会は、会員の2分の1以上の出席をもって成立するものとする。ただし、委任状をもって出席とすることができる。

(総会の議決)

第20条 総会における議決事項は、第16条・第2項の規定によってあらかじめ通知した事項とする。ただし、会員からの緊急動議を認める。
2. 総会の議事は、出席した会員の過半数をもって決める。可否が同じ数のときは議長が議決する。ただし、会則の改定については出席者の3分の2以上をもって議決する。

(役員会)

第21条 会の代表は、この会の運営に必要な事項を協議するため、定期的または必要に応じて役員会を開催する。
2. 役員会は、役員で構成し、代表は必要に応じて会員を出席させることができる。

(運営委員会)

第22条 会の代表は、この会の運営に必要な事項を協議決定するため、定期的または必要に応じて運営委員会を開催する。
2. 役員と各プロジェクトリーダーおよび代表が指名する会員（5名以内）を運営委員とし、運営委員会を構成する。
3. 運営委員会の議事は、運営委員の過半数をもって成立する。

(プロジェクト)

第23条 この会の目的達成に必要な事業を行うため、本会は必要に応じて各種のプロジェクトを設けるものとする。
2. プロジェクトの設置に関して必要な事項は、運営委員会の協議によって別に定める。
3. プロジェクトは必要に応じて随時実施し、その活動内容を運営委員会に報告する義務を負う。

【第5章 会計】

(経費)

第24条 本会の運営に係る経費は、会費・寄付金・助成金およびその他の収入をもって充てる。
2. 事業に必要な経費として、必要に応じて参加費を徴収することができる。

(会計年度)

第25条 本会の会計年度は、4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

【第6章 雑則】

(細則)

第26条 この会則の施行について必要な細則は、役員会において定める。

附則 この会則は、平成20年11月8日から施行する。

2. 初年度の会計は、施行日から平成21年3月31日までとする。

りぶらサポータークラブ

Libra の運営方針

1. 集いの拠点
2. 魅力ある拠点
3. 協働の拠点
4. 情報の拠点
5. 学習の拠点

りぶらサポータークラブは、

Libra の活用をサポートします。
利用者の活動をサポートします。
市民の生涯学習をサポートします。

りぶらサポータークラブでは、
Libra の施設およびそこで働く人、
利用する人のすべてをサポートの
対象と考えています。

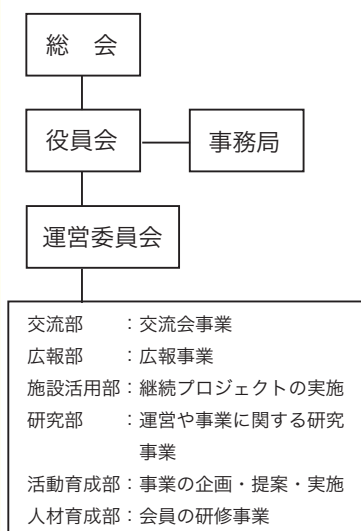
りぶらサポーターへの 約束

1. 信頼・誠実・尊敬・高潔・決意を
原則とし、個人と社会のためになる
よう、サポーターの持てる才能を育
成し、最大限にのばすことを目標に
します。
2. サポーターの多様性を尊重し、充
実した生活を深め、個人のこころざ
しを実現することができるような運
営を心掛けていきます。

りぶらサポーターの心得

1. 私は、りぶらサポータークラブの
一員であることを誇りに思います。
2. 私は、りぶらサポータークラブの
目的を理解し、その目的を達成する
ための役割を果たします。
3. 私は、自分に関係するプロジェク
トおよび事業のプランニングに参画
します。
4. 私は、強い人間関係を築き、絶え
ず学び、成長する機会を求めます。

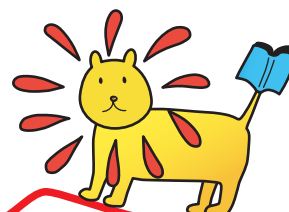
組織図



事務局

〒444-0059
岡崎市康生通西4丁目71番地
岡崎市図書館交流プラザ
市民活動センター内
りぶらサポータークラブ事務局
TEL/0564-23-3114
FAX/0564-23-3142
librashien@city.okazaki.aichi.jp
(件名に LSC と書いて下さい)

I ♥
Libra I on



りぶらいおん©LSC